

おまえざき 市議会だより

82号

2025 年
7.8.9 月

令和 7 年 11 月発行

9月議会定例会……	2
委員会質疑………	6
一般質問………	6
委員会報告………	10
視察研修………	13

昭和 20 ～ 30 年代の御前崎港

昭和 23 年に工事着手した防波堤は 10 年の歳月を費やして完成し、付近を航行する船舶の避難港として利用されてきました。地方港湾として東埠頭が整備され、砂・砂利を取り扱うことで戦後の経済復興を支えてきました。

御前崎市の今むかし

現在の御前崎港

平成 16 年からは、多目的国際ターミナルとして海上コンテナ輸送を開始し、現在は、中国・タイ・ベトナム航路が就航しています。近年では、クルーズ船の寄港などにより人々が交流する海の玄関口としての役割も期待され、物流と地域振興の更なる発展が望まれています。



9月議会定例会

9月議会定例会は、8月29日から33日間の会期で開催し、9月30日に閉会しました。



初日



最終日

議会の様子は「YouTube」で配信されています。

■ 9月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第54号	御前崎市議会議員及び御前崎市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」が公布されたことにより、ビラ及びポスターの選挙限度額を引き上げる改正を行うもの	全員一致で可決
議案第55号	御前崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	(修正案) 人事院勧告に基づき、御前崎市企業職員の令和7年4月以降の給与に関する改正を、4月に遡及して適用するよう改めるもの	全員一致で可決
		(修正部分を除く原案)「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」の公布に伴い、部分休業を取得できる時間の拡大など所要の改正を行うもの	全員一致で可決
議案第56号	御前崎市農業集落排水処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	企業会計としての独立採算制を確保する必要があることから、収益確保のため、農業集落排水・下水道使用料及び水道料金の改定を行うもの	全員一致で可決
議案第57号	御前崎市下水道条例の一部を改正する条例の制定について		全員一致で可決
議案第58号	御前崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		全員一致で可決
議案第59号	東遠学園組合規約の変更について	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令」に伴い、新たに障害福祉サービスの「就労選択支援」に関する条項が加わったことにより、規約を変更するもの	全員一致で可決
議案第60号	財産の取得について (教職員用パソコン購入)	市内小中学校の教職員用パソコン120台の購入につき、総額2,453万円の契約を締結するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第61号	令和7年度御前崎市一般会計予算の補正(第3号)について	年度後半のふるさと納税寄付額を見込んだ業務委託料増額などにより、歳入歳出それぞれ1億5,263万6千円を増額し、総額170億2,603万円とするもの	全員一致で可決
議案第62号	令和7年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について	国保システム改修のための電算業務委託料の増額により、歳入歳出それぞれ1,375万円を増額し、総額34億1,075万円とするもの	全員一致で可決
議案第63号	令和7年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について	令和6年度事業費確定に伴う基金積立金や一般会計への繰出金の増額などにより、歳入歳出それぞれ8,614万1千円を増額し、総額29億2,040万5千円とするもの	全員一致で可決

議案番号	件 名	概 要	審議結果
議案 第64号	令和7年度御前崎市水道事業会計予算の補正(第1号)について	車両一体型給水タンク車購入につき、納期が不足するため令和7年度から令和8年度までの債務負担行為へと変更するもの	全員一致で 可決
議案 第65号	令和7年度御前崎市池新田財産区特別会計予算の補正(第1号)について	財産区有地の売り払いに伴う測量設計委託料の増額により、歳入歳出それぞれ120万円を増額し、総額を5,820万円とするもの	可否同数 議長裁決により可決
認定 第1号	令和6年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額171億1,455万3千円、歳出総額164億8,407万3千円の決算	全員一致で 認定
認定 第2号	令和6年度御前崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額33億7,726万8千円、歳出総額33億5,915万2千円の決算	全員一致で 認定
認定 第3号	令和6年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額5億495万7千円、歳出総額4億8,548万6千円の決算	全員一致で 認定
認定 第4号	令和6年度御前崎市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額29億5,302万7千円、歳出総額28億8,560万円の決算	全員一致で 認定
認定 第5号	令和6年度御前崎市工業団地建設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額14万2千円、歳出総額0円の決算	全員一致で 認定
認定 第6号	令和6年度御前崎市水道事業会計決算の認定について	水道事業収益7億9,083万2千円、水道事業費用9億8,477万7千円、純損失1億9,394万5千円の決算	全員一致で 認定
認定 第7号	令和6年度御前崎市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	下水道事業収益11億1,602万3千円、下水道事業費用10億4,982万2千円、純利益6,620万1千円の決算	全員一致で 認定
認定 第8号	令和6年度御前崎市病院事業会計決算の認定について	病院事業収益50億9,742万7千円、病院事業費用54億6,185万円、純損失3億6,533万3千円の決算	全員一致で 認定
認定 第9号	令和6年度御前崎市池新田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額5,830万2千円、歳出総額4,950万8千円の決算	可否同数 議長裁決により認定
認定 第10号	令和6年度御前崎市池新田西財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額2,136万3千円、歳出総額901万1千円の決算	全員一致で 認定
認定 第11号	令和6年度御前崎市佐倉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額634万7千円、歳出総額323万2千円の決算	全員一致で 認定
認定 第12号	令和6年度御前崎市比木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額402万9千円、歳出総額34万3千円の決算	全員一致で 認定

議案番号	件 名	概 要	審議結果
認定 第13号	令和6年度御前崎市新野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額229万3千円、歳出総額20万7千円の決算	全員一致で 認定
発議 第7号	御前崎ケーブルテレビ施設管理運営に関する調査特別委員会設置に関する決議について	伝送路改修工事以降、多額の財政負担が生じているケーブルテレビ事業について、実態解明のための調査を行う特別委員会を設置するもの	全員一致で 可決
発議 第8号	事務検査に関する決議	地方自治法第98条第1項の規定に基づく事務検査を、「御前崎ケーブルテレビ施設管理運営に関する調査特別委員会」に付託して行うもの	全員一致で 可決
議案 第66号	御前崎市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	正規職員との均衡を図ることを目的に、会計年度任用職員に対して、地域手当相当額を支給するなど、所要の改正を行うもの	全員一致で 可決
議案 第67号	令和7年度御前崎市一般会計予算の補正(第4号)について	9月5日の台風15号により発生した施設の破損被害の早期の復旧工事を実施するため、歳入歳出それぞれ940万円を増額し、総額170億3,543万円とするもの	全員一致で 可決
議案 第68号	令和7年度御前崎市病院事業会計予算の補正(第1号)について	議案第66号の条例改正に伴い、会計年度任用職員の地域手当支給分の増額及び、退職する正規職員の給与分の減額により、病院事業費用を51万5千円減額するもの	全員一致で 可決
発議 第9号	事務検査に関する決議	「浜岡中学校改築工事に係る雨水排水対策」に関し、地方自治法第98条第1項の規定に基づく事務検査を、「御前崎市予算決算審査特別委員会」に付託して行うもの	全員一致で 可決
発議 第10号	高田和幸議員に対する辞職勧告決議について	令和7年2月議会で「問責決議」、令和7年6月議会で「議員辞職勧告決議」が可決されているにもかかわらず、さらなる政治倫理審査基準の違反があったとして、再度議員辞職を勧告するもの	賛成多数で 可決

◆賛否が分かれた議案

※議長は採決には加われません。

議案番号	案件・結果 (賛成=○ 反対=×	議員名(議席順)	高田和幸	福田伸次	川口知幸	石川貴広	村田明彦	小田芳久	二俣秀明	櫻井勝	河原崎恵士	植田浩之	渥美昌裕	阿形昭	阿南澄男
議案 第65号	令和7年度御前崎市池新田財産区特別会計予算の補正(第1号)について	可決	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	※ ○	×	○
認定 第9号	令和6年度御前崎市池新田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	※ ○	×	○
発議 第10号	高田和幸議員に対する辞職勧告決議について	可決	除斥	×	×	○	×	○	○	○	○	○	※	×	○

(議案第65号、認定第9号は、可否同数のため議長裁決にて可決・認定)

高田和幸議員に対する辞職勧告決議

御前崎市議会は、これまでの高田和幸議員の一連の行動を、議会の品位と権威を傷つけるとともに御前崎市議会に対する市民の信頼を著しく失墜させるものであるとして、令和7年2月議会で「問責決議」、令和7年6月議会で「御前崎市議会議員政治倫理規程第10条第2項の措置に関する決議」、及び「議員辞職勧告決議」を可決しているが、高田議員は、こうした御前崎市議会の意思決定を軽視し、全く反省の姿勢を示していない。それどころか、自身のブログで公然と御前崎市議会を批判している。

また、御前崎市議会政治倫理審査委員会から令和7年9月5日付けで議長へ提出された審査結果報告書によれば、あらためて高田議員による以下の行動が御前崎市議会議員政治倫理規程第3条の政治倫理基準に違反するものと認定された。

- ① 政治倫理審査委員会結果報告書に対する自身の弁明書の中に、秘密会の議事に関する内容を記載し、これを本会議場で読み上げたこと。
- ② 高田議員の発言の真偽を確認するための調査が実施された際、自ら名乗り出ようとした職員の口止めをして、政治倫理審査委員会の審査を妨害したこと。
- ③ 令和7年6月13日の本会議終了後、議場において特定の職員にハラスメント行為を行ったこと。
- ④ 御前崎市政を批判するチラシを町内会の回覧文書として地域住民に回覧したこと。
- ⑤ 政治倫理審査委員会における事情聴取の際、一切の証言を拒否したうえ、手提げバッグを机に叩きつけるようにして退席したこと。

なお、同報告書の最後には、高田議員に対し「議員辞職勧告」の措置を講ずるよう求めるとの付帯意見が添えられている。

高田議員に対する措置については、議長から諮問を受けた議会運営委員会において協議され、公平かつ慎重なる審査を行った御前崎市議会政治倫理審査委員会の審査結果及び付帯意見を尊重することが確認されている。

高田議員は、これまでも「表現の自由」、「発言の自由」などと言って、自分に都合の良いように事実を歪曲して発言しており、こうした言動が、同僚議員をはじめ市職員、町内会役員や地域住民にまで迷惑を掛けていることを自覚し反省すべきである。

自らの権利を振りかざし、他人の意見や忠告には耳を貸そうとしない高田議員の政治姿勢は、市民の代表者たる市議会議員の本質から著しく逸脱しており、これを御前崎市議会としては断じて許すわけにはいかない。

よって、御前崎市議会は、高田和幸議員に対し、自らの意思により速やかに議員辞職することを、あらためて強く勧告するものである。

以上、決議する。

令和7年9月30日

御前崎市議会

委 員 会 質 疑

総務経済 委員会



議会の様子は「YouTube」で
配信されています。

令和7年9月12日及び9月19日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第55号について】 P.2 参照

問 本来、2月議会に提出すべき給与改定条例の改正を失念したのですか

答 今回の改正内容の中で10月1日から施行する部分もあります。附則の中で、それ以外の部分は公布の日からということとで漏れております。現行の運用に合わせて改正をお願いしています。

問 御前崎市企業職員の地域手当が4月から9月まで支給されていないのですか

答 4月から地域手当を支給しておりますが、後ろ盾となる条例が改正されておられませんので、改正をお願いするものです。

問 既に地域手当が支給されているのであれば、4月1日

に遡って遡及適用しないと条例違反になりませんか

答 条例どおりではないということは事実であります。

なお、議案第55号は、企業職員の地域手当が、既に令和7年4月から支給されていることにより、4月から遡及適用する旨の記載へと修正案が出され、原案の一部の修正案と、修正部分を除く原案について可決すべきものと決定しました。

文教厚生 委員会

委員会

議会の様子は「YouTube」で
配信されています。

令和7年9月12日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第58号について】 P.2 参照

問 令和11年度に3回目の水道料金の改定が予定されているという認識でよいのか

答 そのとおりです。

問 令和11年度に予定されている水道料金及び下水道料金は、近隣他市と比較して同程度の料金か

答 同程度になる予定です。



議会の様子は「YouTube」で
配信されています。

一般質問

9月10日、3名が登壇
市政を問う

一般質問

・予防医療の取り組みについて



阿南澄男

問 医療を取り巻く環境の変化を受け、従来の治す医療から予防する医療への転換が強く求められています。予防医療を積極的に推進していくことが、市としての喫緊の課題であり、医療費の抑制と社会的負担の軽減を図る必要があります。中でも、特に重要なのが、運動習慣の定着です。健康寿命を延ばすには、日常的・習慣的な運動が不可欠であり、市としても、住民が運動習慣を身につけられる支援体制や環境整備を強化することが求められています。本市が現在取り組んでいる予防医療と今後の強化について伺う

答 本市では、予防医療の推進に向けて、1次予防、2次予防、3次予防の各段階において様々な取り組みを行っております。1次予防として、まちの保健室や健康セミナーなどを開催し、2次予防として、市民の受診機会の確保と利便性の向上を図り、3次予防として、保健師や管理栄養士による個別の保健指導を実施し、重症化の防止に努めております。また健康寿命の延伸には運動習慣の定着が非常に重要であると認識しております。このため、市民が無理なく楽しく継続できるように、市民プール「ぶるる」と連携した運動教室を実施するなど、運動機会の提供にも力を入れております。今後も生活習慣病の予防や重症化予防、そして医療費の抑制にしっかりとつなげるよう予防医療の取り組みを一層推進し、各世代に応じた健康づくりを支援してまいります。



高齢者体操教室

一般質問

・御前崎小学校の通学路の側溝のふたの穴の危険性と対策について
・プラスチック廃棄物リサイクルの重要性に対する認識と市の現状について



小田芳久

問

交通安全白書では、小学生の交通事故は歩行中が5割以上占めています。市民の方々より御前崎小学校の通学路の側溝のふたの穴に児童のつま先が挟まり転倒の危険性があるとの指摘がありました。側溝のふたの穴の危険性に対する対策が必要ではないか伺います

答

道路の拡幅や歩道の設置が困難な通学路には、グリーンベルトを設けるなど走行車両に対して注意喚起を行い、通学路の安全確保に努めております。県や関係機関と連携し、状況に即した具体的なハード対策を検討します。

問

国は「プラスチック資源循環戦略」を策定し、2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等に有効利用するよう様々な取り組みを推進しております。プラスチック廃棄物リサイクルの重要性の認識と、本市の現状を伺います

答

廃棄物の削減、再使用やリサイクルは、SDGsでも

問

求められており、全世界で取り組むべき重要な課題であると認識しております。本市のプラスチック廃棄物リサイクルは「第2次御前崎市一般廃棄物処理基本計画」において燃料化あるいは再商品化をする計画となっております。

答

本市のプラスチック廃棄物リサイクルはほぼできているが、再商品化は市外の企業で行われているため、ペレット製造企業を拡充し、市内の企業での再商品化を検討すべきであると思うが、松坂副市長のお考えを伺います

プラスチックペレット製造業をはじめとしたリサイクル関連企業が市内に増加すること、商工業の活性化や雇用創出につながっていると思います。既に多くの大企業がプラスチックリサイクル事業に取り組んでおりますが、事業採算は厳しいとの話も伝わっております。今後は、私の民間企業での経験を活かし、市内外の様々な企業と意見交換をし、商工業の発展につなげてまいります。

一般質問

・学区再編について



高田和幸

問

牧之原市では2033年に地頭方小学校を含む相良小中一貫校が誕生する予定と聞いている。これにより8年後には御前崎中学校から地頭方の子供たちはいなくなり、白羽、御前崎地区の子供たちだけとなる。そのようになる前に、御前崎中学校をどうするべきか考えなければならぬと思うがいかがか

答

本年9月3日に牧之原市長から正式に「牧之原市小中学校の再編に伴う御前崎中学校に関する協議について（依頼）」の文書を受領しました。御前崎中学校の学習環境が大きく変わることになります。本市にとって極めて重要な課題であり、慎重に対応すべきであるため、今後2年を目安に方向性を決めてまいります。

問

子供や保護者、地域住民の意見を集約する必要があると思う。情報提供や勉強会、検討会を計画するつもりはあるか

答

白羽のんのん英育園に通う保護者からの意見聴取は必

問

要だと考えており、本年度、園に出向いて現状説明と意見聴取を実施しております。

御前崎中学校の再編については、3年間通学する中学生のことを第一として考えてもらいたい。全国学力学習調査の結果が悪い状況を考えれば、より学習に取り組める環境を整える必要があると思うがいかがか

答

子供たちにとって教育の質を確保し、充実した学びを保障することが最も大切なことだと考えております。

問

歴史、伝統、通学時間等を考えると浜岡中学校との合併は現実的ではないと思うがいかがか。また、御前崎中学校の在り方を検討するにあたり、各方面の意見を集約して欲しいがいかがか

合併については教育委員会と一体となって考えていく必要があります。御前崎中学校については、方法論を示して地域住民の意見を聞くために、意見聴取の方法を検討してまいります。



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

一般質問

- ・猪等による獣害対策における猟友会の役割と市の支援について
- ・避難所となる体育館の空調整備について



植田浩之

問

本市においてこのように、猪等による農作物被害や生活環境への悪影響が深刻化しており、住民の安全や営農活動に対する大きな脅威となっています。

猟友会会員の高齢化や後継者不足を踏まえ、若年層や新規参入者に対する支援策を伺います

答

今後、猟友会会員の高齢化が進み継続していくことが困難となる可能性もあります。国の交付金事業などを活用し、猟友会と地域の農業者が連携した総合的な対策を研究しております。

問

本市において、今後どのような害獣対策をしていくのか、具体策を伺います

答

猟友会と地域の農業者による活動組織を設置し、ワナ設置箇所などの範囲を拡大します。また、狩猟税の非課税や狩猟免許更新時の技能講習免除、公務災害の適用といったメリットもあります。これらの対策強化により獣害を防止し、安定した農業生産の確保を図りたいと思います。

問

大規模災害時に、避難所となる市内体育館の暑さ対策は、喫緊の課題であると考えます。

また、小中学生におきましても同様に、体育館を使用する中での熱中症が心配されます。本市において酷暑時の熱中症対策として、現時点でどのような対応策が講じられていますか。また、国の防災減災対策の交付金や補助制度を活用した、空調整備計画の検討状況について伺います

答

放射線防護施設に指定されている体育館については、スポットクーラーの設置を行っています。学校での体育の授業や部活動を行う際の熱中症対策として、空調設備の必要性について、調査研究をしております。

問

避難所となる体育館への空調整備について、本市独自の対応を伺います

答

放射線防護施設のエアシェルターについては、現在設置しているスポットクーラーより大型のものを設置予定です。

一般質問

- ・御前崎市職員人事評価制度について
- ・御前崎市立図書館について



石川貴広

問

人事評価制度の費用対効果をどのように検証しているのか伺う

答

費用対効果の検証は行っておりませんが、引き続きPDCAサイクルを実行し、業務効率の改善や生産性の向上を促進するとともに、職員の能力開発と人材育成に努めてまいります。

問

現行の評価基準やプロセスは、市長が重視する「職員の挑戦意識の向上」につながる仕組みとなっているか伺う

答

挑戦意識は、現行の評価要素に含まれております。また、能力・態度評価項目が11項目ございますが、全ての項目が重要であり評価ウエイトに差は設けておりません。日頃からあらゆる機会をとらえて職員に挑戦意識についてしっかりと伝えてまいります。

問

人事評価結果の極端な中央化の要因を伺う

答

人事評価制度は適正に運用されていると認識しておりますが、評価結果の現状を分析し、

制度や基準について検討してまいります。

問

御前崎市立図書館に期待する役割を伺う

答

市民の教養を養い、思考力や学力の向上に資するとともに、生涯学習施設として市民の課題解決に寄与してまいります。

問

電子図書館サービス導入の可能性を伺う

答

ライセンス料などのランニングコストやコンテンツの充実度、端末利用が難しい方への対応など課題もあります。今後、利用実態に即した導入が可能か検討してまいります。

問

近隣市住民の利用も多い御前崎市立図書館の誘客効果を、まちの活性化につなげる意図があるか伺う

答

第一に「読書・調査・学習の場」としての機能を確実に維持・充実させた上で、必要に応じて時代の変化や市民ニーズに即した工夫を検討してまいります。

一般質問

・御前崎市内の学校再編について
・時代の変遷による本市のPTA活動について



川口知幸

問

市内小中学校の再編について、市民からの意見収集や策定のための組織体制の要望をしたが、昨年9月以降の進捗を伺う

答

意見収集については市民の皆様の見解を取り入れ、新しい「御前崎市教育振興基本計画」などに反映してまいります。組織体制については、関係各所と連携し引き続き検討してまいります。

問

昨年の9月議会で「本市にわたる再編がどうあるべきか研究をしているところ。」と回答を頂いたが、今後の方針は明らかになったのか

答

他市の状況や事例の調査を続けております。地域の良さを活かして教育の質を確保し、充実した学びを保障することを基本方針と考えております。

問

御前崎中学校に通学する地頭方地区の生徒は、2033年には現在計画が進んでいる牧之原市立の中学校に通学が決定したと聞いたがそのとおりか

答

義務教育学校を令和15年度開校に向けて進めると報告

を受けております。本市も教育の質を確保し、学校の在り方を考える必要があります。引き続き牧之原市と協議を進めてまいります。

問

本市にはスクラムスクール協議会という特色ある活動があるが、様々な社会変化にどのように対応していくのか

答

時代の変化に即した活動を維持し、子供たちの健やかな成長を学校・家庭・地域が一体となって支えていけるよう、環境整備に努めてまいります。

問

市内の小中学校のPTA加入率はどの程度か

答

加入率は、ほぼ100%となっており、子供たちの健やかな成長のために、教育活動へご協力をいただいております。

問

本市では、特色ある活動はどのようなものがあるか

答

奉仕作業や通学点検など、教育環境の整備や子供たちの安心安全の確保に向け、積極的に活動していただいております。

一般質問

・市内農業の将来展望について
・若者のスポーツ振興とその施設整備について



村田明彦

問

農業の担い手支援、新規就農、基盤整備等、農業の将来展望について伺う

答

担い手支援については、新規就農者に対して、県やJAと共同で、経営の評価と指導を定期的に行っています。また、認定農業者に対しても、補助金や融資制度を活用した支援を継続しています。基盤整備については、比木地区の水田基盤整備事業が継続され、朝比奈地区では地元農家との調整が完了し、事業同意の取得を進めております。新たな取り組みについては、先端技術を活用したスマート農業や、地域の農家が共同で取り組む集落営農の手法などについて検討してまいります。

問

若者のスポーツ振興とその施設整備について伺う

答

スケートボードやBMXなどは、特に若者のスポーツ振興に有効であると考えます。本年も開催されたサーフインの世界大会では、アーバンスポーツの体

験会も実施され、多くの子供が参加しております。スケートボードやBMXの施設などは、野球場やプールなどの施設と比較すると、比較的费用が抑えられると予想されますが、本市のスポーツ施設の維持管理状況は、多額の費用が必要となっており、新たなスポーツ施設を整備することは難しい状況です。サーフタウン構想において、マリンスポーツの推進を考えており、今後も民間の力を活用しながら、スポーツ振興に取り組むとともに、近隣市におけるアーバンスポーツなどの施設状況を把握し、本年度中を目途に調査・研究してまいります。



一般質問

・大井川利水関係協議会について
・市民団体からの公開質問状の回答について



福田伸次

問

大井川利水関係協議会発出文書、協議会での市長の発言の意図、協議会における本市の対応方針について

答

ＪＲ東海から静岡県中央新幹線対策本部を通して「山梨県境付近の掘削工事に伴う健全な水循環の回復措置としての田代ダム取水抑制案の実施等について」協議会の了解を得たいと依頼がありました。協議会として東京電力リニューアブルパワーとの協議にあたっての前提及び県境付近からの静岡県内の高速長尺先進ボーリング調査を実施することに了解したものです。調査で得られた結果について、専門部会において科学的・工学的に検証し、当協議会へ報告を求めるとともに、調査を進めるにあたってリスク管理や期間、不測の事態が発生した場合の対応について意見しております。水問題の「対話完了」という表現については、工事の進捗、進行状況に合わせた、その対応のための指針が決定したという意味で捉えています。

問

市民団体からの公開質問状の回答について

答

本市としては、リニア工事業によって市民生活や地域産業に影響がないよう、水資源や自然環境の保全に向け、国や県、流域市町と連携し、対応していく方針です。

予算決算審査
特別委員会

令和7年9月16日から18日の3日間、委員会を開催し、付託された補正予算5件及び令和6年度決算13件について、関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め慎重に審査した結果、すべての議案を原案のとおり可決及び認定すべきものと決定しました。

また、令和3年7月に工事が完了した浜岡中学校校舎改築工事について、教育総務課長から現状と今後の対策について説明を受けました。

意見書

認定第1号 令和6年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	
総務課	シティプロモーション事業については、令和8年度の予算において抜本的な見直しを行い、効果的な事業を推進するよう求める。
企画政策課	市民意識調査については、市政の根幹を成すものであるため、全庁的に問題意識を持って取り組むこと。
税務課	業務推進を高く評価する。
健康づくり課	中東遠看護専門学校（東海アクシス看護専門学校）を卒業した看護師の獲得に向け、健康づくり課を中心に積極的に取り組むよう強く求める。
教育総務課	近年の猛暑を踏まえ、体育館の空調整備を進めるとともに、災害時の避難所としての活用も見据え、空調設備の早急な導入を強く求める。
学校教育課	市が推進するスクラムグッドマナー運動は大きな成果を上げている。引き続き、啓蒙啓発を推進するよう強く求める。
社会教育課	社会教育課が進める「御前崎クエスト事業」は、その内容や費用対効果を検証し、現在の委託先に限らず、他の事業者への委託も含めて事業の在り方を検討するよう求める。

原子力対策

特別委員会

令和7年9月19日に委員会を開催し、次のとおり説明を受けました。

1 GX2040ビジョン・次世代原子炉の状況について

経済産業省資源エネルギー庁
原子力立地政策室

利根川室長

○GX2040ビジョン

脱炭素社会と産業振興の両立を目指す国家戦略

○次世代原子炉の状況について
安全性を大前提に原子力発電所の再稼働を進めつつ、次世代革新炉の開発・設置など取り組みを進める必要がある。

2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果について

静岡県環境放射線監視センター

若松所長

令和6年度調査では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められなかった。

3 技術力の維持向上・継承に向けた取り組みについて

中部電力(株)

	根 拠	内 容
GX2040 ビジョン	GX推進法	・脱炭素投資を促すため、2040年頃の目指すべきGX産業構造、GX産業立地政策の方向性を提示 ・カーボンプライシングの具体策などGX市場創造等
エネルギー 基本計画	エネルギー 政策基本法	・エネルギー政策についての今後の方向性 ・2040年度のエネルギー需給構造（再エネや原子力などの比率（電源構成）、エネルギー自給率など）等
地球温暖化 対策計画	地球温暖化 対策推進法	・すべての温室効果ガス（フロンなど非エネルギー起源の温室効果ガスを含む）の排出削減の取組 ・新たな排出削減目標（NDC）等

GX2040ビジョン、エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画の位置づけ

2011年に浜岡原子力発電所が停止して以降、運転している原子力発電所での業務経験がない発電所員が約4割強いことにより、知識・技能の維持・継承のために、次のとおり取り組んでいる。

○再稼働する同型炉（女川原発）への運転員等の派遣

○プラント起動前に行う系統機能試験の経験及びノウハウの継承等

中長期計画共創

特別委員会

令和7年9月19日に委員会を開催し、牧之原市御前崎市広域施設組合が作成した「焼却施設に関する調査研究会報告」について、市民課長及び環境保全センター所長から説明を受けました。

○調査研究の目的

焼却施設は供用開始から32年が経過し、老朽化が進んでいるため毎年高額な施設修繕費を計上しており、構成2市の財政状況を考慮し施設の在り方について考えていくことが重要となっている。そのため、コスト・経済性・持続性・実現の可能性などを検証し、構成2市にとって最善の選択を模索し、具体化の方向性を導き出すことを目的とする。

○総論（調査研究会としての最善策）

静岡県が策定したマスタープラン（ケース3）に従い進めていくことが、構成2市だけでなく近隣市町にとっても将来的なごみ処理問題の解決、安定処理につながる。なお、マスタープランへの移行期間については、いかにコストを抑えるかが重要であり、既存施設

の修繕や外部搬出等の検討が必要である。修繕した場合には、他市町の可燃物を受け入れするなどして収入を増やし分担金の削減を目指すことが条件となる。

ケース	期 間	広域化範囲
ケース1	現 在	御前崎市・牧之原市の一部（旧相良町）
ケース2	令和4年度～令和13年度 （計画期間）	御前崎市・牧之原市・吉田町
ケース3	令和14年度～令和34年度 （長期的な展望）	御前崎市・牧之原市・吉田町・島田市・川根本町
ケース4	令和34年度～ （長期的な展望）	御前崎市・牧之原市・吉田町・島田市・川根本町・藤枝市・焼津市・静岡市

静岡県一般廃棄物処理広域マスタープラン

御前崎ケーブルテレビ施設 管理運営に関する調査

特別委員会

8月29日に開催された本会議において「御前崎ケーブルテレビ施設管理運営に関する調査特別委員会」が設置され、本委員会への検査権が付与されました。

本委員会の目的は、ケーブルテレビ事業が、市民生活と地域社会に重要な役割を果たす公共性の高い事業であることから、その施設管理運営の適正性を調査するものであり、平成31年4月の伝送路改修工事負担金契約の締結に至った経緯と、その後の事務処理及び株式会社御前崎ケーブルテレビの経営状況等の実態を解明するものです。

9月10日に1回目の委員会を開催し、委員長に阿南澄男委員、副委員長に二俣秀明委員が互選されました。今後は、伝送路改修工事前後の株式会社御前崎ケーブルテレビの会計状況について詳細な調査を実施し、伝送路改修工事負担金契約の妥当性及び必要性について検証を進めていきます。

議員研修

令和7年度

静岡県市町議会議員研修会

研修日 令和7年7月11日（金）

会場 グランシップ（静岡市）

講師 作家／ジャーナリスト

佐々木俊尚氏

演題

「AI、自動運転、医療DX、現代の先端テクノロジーは、産業や社会をどう変えていくか」

地方分権の時代にふさわしい議員としての意識改革を促し、地域住民の立場に立った新しい地域づくりを効率的かつ効果的に推進できる議員の育成や市町の枠を超えた議員相互交流、議員の資質向上を図ることを目的に研修会が開催されました。

講演会では、近年の発展していくAI技術により、自動運転を活用した無人タクシーの実施や、医療DXを導入した医療費の削減など社会情勢に対応するためのテクノロジーの発展について説明を受けました。発展していくテクノロジーに対し、大切なことはテクノロジー

ロジーの発展により引き起こす社会の変化を否定しないこと、先端テクノロジーに前のめりになることが必要であると説明を受けました。

第19回

東遠議員交流フォーラム

研修日 令和7年8月1日（金）

会場 静岡カントリ

浜岡コース&ホテル

講師 関東農政局静岡県拠点地方

参事官 河合亮子氏

演題 「荒廃農地を考える」

4市（掛川市・菊川市・牧之原市・御前崎市）の議員が一同に会し、荒廃農地の現状や課題、今後の可能性について、国の担当者から説明を受けました。講演後は、講演の内容を踏まえ①「どう活かす？動かす？荒廃農地再生への道筋」②「つなぐ農地、つくる担い手」③「次世代へのバトン」④「地域の力で売れるをつくる特産品開発の可能性」の3つのテーマについて議員間で意見交換をしました。



講演内容を受け意見を出し合う議員



講演会を聴く4市の議員

視察研修

原子力対策特別委員会

視察日 令和7年7月1日(火)
～3日(木)

視察先及び内容

○女川町役場・女川原子力発電所
(宮城県女川町)

女川町役場にて、女川町議会議員との懇談会を実施し、女川町における原子力災害対策について説明を受けました。女川原子力発電所には、3基の発電設備があり、2号機は、福島第一原子力発電所事故を教訓とした新規制基準を適合した安全対策工事が令和6年5月に完了し、同年11月に東日本大



女川原子力発電所にて説明を受ける議員

震災からおおよそ14年ぶりに再稼働しました。

○東海第二発電所(茨城県東海村)

東海第二発電所の防潮堤は、敷地内への津波の流入を防ぐため、全長約1.7キロメートル、高さ20メートルに及び、発電所の周囲に建てられています。また、使用済燃料乾式貯蔵施設では、使用済燃料を乾式キャスクに入れて貯蔵しています。乾式キャスク貯蔵とは、使用済燃料をヘリウムガスとともに頑丈な金属製の乾式キャスクに封じ込め、貯蔵する方式であり、東海第二発電所では、7年以上冷却した使用済燃料を乾式キャスクに入れて順次貯蔵しています。



東海第二発電所にて説明を受ける議員

政治家の寄附行為・年賀状は禁止されています

政治家(候補者・候補者となる者とする者・現に公職にある者)は、公職選挙法により選挙区内の人に対して寄附やあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。

			
お慶喜やお年賀	入学祝・卒業祝	病気見舞い	秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
			
秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	葬式の花輪・供花	落成式・開店祝の花輪	町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
		贈らない! 求めない! 受け取らない!	
お祭りへの寄附や差入	地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入		

※公益社団法人 明るい選挙推進協会リーフレットより抜粋

